



あしあと
利用者ものがたり。
渡真利トヨさん編



お似合いですね。

「結ばれていた赤い糸」
(出会い編)

お待ちいたしました。
渡真利トヨさんのあしあとが今月で最終章！。

学校から帰ると、遊びにもいかず、ほとんどの時間を家族と畑ですごします。やっぱり子どもだから、友達とあそびたいとか思っていたんじゃないですか？と聞くと「家族がごはんをたべれるようになるのが先さ～」といます。なんて家族思いなんだ！僕の子ども時代からは想像もできません。

畑仕事がおちついてくると、足踏みミシンを使って、洋服もつくりました。作物や洋服ができると、よく兄弟と馬車で「たいら市」に売りにいきました。

ある日、トヨさんは作物を運んでいる時に、のどがカラカラになってきました。「どうしようかなあ」と考えているときに一人の男性がトヨさんの横を通りがかりました。トヨさんは勇気をだして、男性に話しかけました。「あの～、すみませんが私に水を分けてくれませんか？」と声をかけると男性はこころよく「いいですよ」と水をさしだしました。その男性は、トヨさんの暮らす町によく遊びにきていたようです。

このやさしい男性こそが、トヨさんの運命の相手となります。

運命の相手は「新行さん」。何度か二人で遊んでいくうちにお互いに好きになり「この人と結婚したい」と思うようになっていきました。

結婚をあとおししたのは、新行さんのお姉さんの正子さん。「結婚していいよ」という言葉をきいて結婚したそうです。

赤い糸で結ばれた人は偶然にもトヨさんが暮らす町によく遊びにきていたなんてこういうドラマみたいな出会いが本当にあるんですね。

昔から自分の時間をけずって家族のために仕事をしてきました。ひもじい思いもしました。そして、戦争で兄を亡くしてツライ思いをしてきたトヨさん。今まで、こういう思いをしてきたトヨさんへ、神様が奇跡の出会いをプレゼントしたのかなあと思いました。

文：佐和田裕也



伸さん宅のお花。



赤い糸が見えるような...



白い肌に紅型が似合っています。

あんない
かんない

**回転寿司風♪ 安心で衛生的な
流れないソーメンは世界初！**

一見、流しソーメン？ いいえ、回転寿司？ いやいや回転ソーメン？
おとなの寺小屋うむいぬうふやーが、世界で初めて「回転寿司のお店で流しソーメンを食べるみたいなカップソーメン」を開発しました。

特別なノウハウですが、いつもお世話になっている月刊うむいの読者には教えましょう。

【世界最高水準の衛生的な準備】
全員、手を洗い、消毒し、手術用グローブを装着し、グローブの上から消毒。からだやテーブルを触ってしまったら、また消毒。

【カップに盛り付けるから衛生的！】
はしを使い、ソーメンをひと口ずつカップへ。豆苗と卵焼きもカップに盛り付け、すぐにフタをかぶせる。

【流れない、回らないから衛生的！】
各自、自分が食べたいカップを選び、食卓へ。ソーメンをお代わりする場合、目の前に動かない竹に乗ったソーメンが現れる。ソーメンは回らないので、ゆっくり選ぶことができる。じつに楽しいお昼ご飯でした！



おにぎりはすべて里子さん。



カップにソーメンを入れます。



米助さん、助かりました！



はしを使って衛生的に。



ゆでる作業はすべてきみこさん。



これをいただきます。



消毒して手袋して消毒。



包丁もスタッフより上手。



不思議！ソーメンが現れた！